

# 環境に係る情報協議会

## 国営かんがい排水事業 常呂川下流地区

### 1. 環境に対する考え方

#### 《農村環境の現状と課題》（「北見市田園環境整備マスタープラン」より）

##### 【現状】

常呂川は、自然が豊富で、水辺は動物や植物の繁殖地となっている。

豊かな水ときれいな空気を育む森林は、独自の生態系が形成され、貴重な動植物の宝庫となっており、ハイキングや動植物の生態観察に利用されるなど、市民もいろいろなかたちで恵みを受けている。

##### 【課題】

北見市の豊かな自然を、開発事業などのバランスを保ちながら保全し、次世代に継承していく。

#### 《環境保全の基本的考え方》（「北見市田園環境整備マスタープラン」より）

北見市総合計画における生活環境の課題設定となっている「自然と共生する安心安全のまちづくり」と合致した農業農村整備事業を展開する。

### 2. 環境配慮方針

#### 《基本方針》

本地区の農地は自然豊かな農村景観を形成し、隣接する河川や緑地には希少種を含む多様な動植物が生息・生育している。

工事の際にはこれらの生息・生育環境や農村景観との調和に配慮する。

#### 《取組内容》

##### (1) 生態系への配慮

- ・排水機場の新設に当たっては、工事着手前に、現場周辺において希少鳥類の生息状況調査を実施し、営巣繁殖が確認された場合には、騒音・振動を抑制する対策を行う。
- ・新設する放水路の整備に当たっては、在来植生の保全、回復に配慮し、土水路構造を基本とするとともに、法面を自然植生シートで被覆する。
- ・排水機場及び排水路の整備に当たっては、排水先となる常呂川に生息するサケなどの魚類への影響に配慮し、濁水流出防止施設を設置する。

##### (2) 景観への配慮

- ・排水機場の整備に当たっては、地域景観との調和に配慮した位置・色彩とするとともに、敷地の周囲には隣接する防風林と同様の樹種を植樹する。